

様式 1

教科用図書第 3 採択地区調査委員会

(国 語 ・ 書 写) 小委員会委員長

浅 沼 珠 恵



調査研究・審議の経過	1 審議の対象となった発行者名及び数 ・東京書籍、教育出版、光村図書の 3 者 2 調査研究の手順 ・第 1 回調査委員会（7 月 5 日）で 3 者の教科書を配付し、調査の観点や手順を協議した。 ・第 2 回調査委員会（8 月 3 日、4 日）に、各自の調査研究を基に内容別に協議し、様式 1 について整理するとともに、全体を通して各者の特徴をまとめ、様式 2～6 を作成した。 3 調査研究のための観点、項目 ・取扱内容については、学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか、という視点で調査し整理した。 ・知識及び技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容などがどのように取り扱われているか、という視点で調査し整理した。 ・内容の構成・排列については、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的、発展的に組織されているか、という視点で調査し整理した。 ・使用上の配慮等については、児童の学習意欲を高める工夫がされているか、自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫がされているか、目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか、という視点で調査し整理した。
全体を通じての特徴	1 東京書籍については、伝えたいことが相手に伝わるように、工夫して話す活動や相手や目的に応じて情報を集め、パンフレットを作る活動を通して、相手意識や目的意識を明確にするなど、児童の学習意欲を高める工夫に特色があり、優れている。 教育出版については、人の話を聞いて、初めて知ったことを友達に伝える活動や写真や図表を効果的に使い、読む人の興味を引く図鑑を作る活動を通して、相手意識や目的意識を明確にするなど、児童の学習意欲を高める工夫に特色があり、優れている。 光村図書については、夏休みの出来事を友達にわかりやすく知らせる活動や知らせたいことが読む人に伝わるよう工夫して新聞を作る活動を通して、相手意識や目的意識を明確にするなど、児童の学習意欲を高める工夫に特色があり、優れている。 2 このほか、3 者とも、UD に配慮するとともに、1 人 1 台端末を活用した学習活動として二次元コードを掲載し資料画像等を活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られているなどの話題も出された。

国語の目標について

【教科の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【学年・領域等の目標など】

〔第 1 学年及び第 2 学年〕

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。
- (3) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

〔第 3 学年及び第 4 学年〕

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。
- (3) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

〔第 5 学年及び第 6 学年〕

- (1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

【参考】

○ 目標の改善

国語科で育成を目指す資質・能力を「国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力」と規定するとともに、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理した。また、このような資質・能力を育成するためには、児童が「言葉による見方・考え方」を働かせることが必要であることを示している。

学年の目標についても、従前、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の領域ごとに示していた目標を、教科の目標と同様に、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理した。

○ 標準授業時数

第 1 学年－306 単位時間

第 2 学年－315 単位時間

第 3 学年－245 単位時間

第 4 学年－245 単位時間

第 5 学年－175 単位時間

第 6 学年－175 単位時間

様式 3

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		2・東書	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	国語・109、国語・110 国語・209、国語・210 国語・309、国語・310 国語・409、国語・410 国語・509 国語・609	新編 あたらしい 国語 一上、新編 あたらしい 国語 一下 新編 新しい 国語 二上、新編 新しい 国語 二下 新編 新しい 国語 三上、新編 新しい 国語 三下 新編 新しい 国語 四上、新編 新しい 国語 四下 新編 新しい 国語 五 新編 新しい 国語 六
取 扱 内 容 〔学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 、 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等 〕 、 内 容 の 構 成 ・ 排	○ 〔知識及び技能〕の内容については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 昔話の読み聞かせを聞くなどして、好きな場面を友だちに教える活動や物の名前を表す言葉を使ってしりとりをしたり、仲間分けしたりする活動 第3,4学年～ 身の回りにある物をローマ字で書いたり読んだりする活動や、いろいろなことわざや故事成語の意味を調べたり、使い方を考えたりする活動 第5,6学年～ 「竹取物語」などの古文を音読し、言葉の響きを楽しむ活動や、相手や場面に応じ敬語や改まった言葉遣いを考えたり使ったりする活動 ○ 話すこと・聞くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 思ったことを話したり聞いたりして話をつなぐ活動や、伝えたいことを選んで、宝物を紹介する活動 第3,4学年～ メモを取りながら人の話を聞く活動や、司会や提案者などの役割を意識して話し合う活動 第5,6学年～ インタビューをして、自分の知りたいことを相手から聞き出す活動や、学校生活をよりよくする工夫を考え、資料を使って提案する活動 ○ 書くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ いろいろな乗り物について、本で調べて乗り物カードを作る活動や、家でしていることについて、友だちが分かりやすいように、文章を書く活動 第3,4学年～ 大事なことが伝わるように、案内の手紙を書く活動や、書いた文章を読み返し、よいところを確かめる活動 第5,6学年～ 心の動きや出来事の様子が伝わるように、表現を工夫して短歌を作る活動や、論の進め方を工夫して、提案書を書く活動 ○ 読むことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 物語を読んで、好きなところを見付ける活動や、どんな順序で説明されているかを考えて読む活動 第3,4学年～ 物語を読んで、中心人物の行動や気持ちについて、考えたことを伝え合う活動や、文章を読んで目的に合わせて要約し、紹介する活動 第5,6学年～ 伝記を読んで、生き方について考えたことを感想文にまとめる活動や、文章を読んで、意見や感想を伝え合い、自分の考えを広げる活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 「ことばの力」や「学しゅうのながれ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、登場人物の様子を思い浮かべながら音読したり、自分の知っていることを結び付けて文章を読んだりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第3,4学年～ 「言葉の力」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、登場人物の性格について、想像したことを伝え合ったり、自分の体験と結び付けて筆者の考えを捉えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動				

列	第5,6学年～ 「言葉の力」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、物語の組み立てや山場での登場人物の気持ちの変化について、考えたことを伝え合ったり、複数の文章を関係づけて読み、分かったことを整理したりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1,2学年～ 第1学年で、登場人物の設定を考えながら物語を書く活動、第2学年で、絵を見て場面のつながりを考えながら物語を書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫 第3,4学年～ 第3学年で、登場人物の様子や場面を想像して音読で表す活動、第4学年で、登場人物の気持ちを想像して音読で表す活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫 第5,6学年～ 第5学年で、意図を明確にして計画的に話し合い、考えを広げる活動、第6学年で、自分の立場を明確にして話し合い、考えを広げる活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 伝えたいことが相手に伝わるように、工夫して話す活動（第4学年）や相手や目的に応じて情報を集め、パンフレットを作る活動（第6学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、読書に親しむ習慣や態度を育むため、読書单元「本は友達」を掲載する（全学年）など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「言葉の力を集めよう」で当該学年で学習する单元と「言葉の力」を示したり（第2～6学年）、「言葉の力のつながり」で「言葉の力」の系統表を示したり（第3～6学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 独自開発の教科書体を中心に、文字の小さな箇所にはUDフォントを使用したり（全学年）、紙面内の文字や図版などの区別を明確にし、配置や色使いを工夫したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、单元導入の動画やアニメーション、「話すこと・聞くこと」のモデル動画等を活用できるようにする（第2～6学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

番 号 観 点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	17・教出	第1学年 第2学年 第3学年 第4学年 第5学年 第6学年	国語・111、国語・112 国語・211、国語・212 国語・311、国語・312 国語・411、国語・412 国語・511、国語・512 国語・611、国語・612	ひろがることばようがくご 一上、ひろがることばようがくご 一下 ひろがることば小学国語 二上、ひろがることば小学国語 二下 ひろがる言葉小学国語 三上、ひろがる言葉小学国語 三下 ひろがる言葉小学国語 四上、ひろがる言葉小学国語 四下 ひろがる言葉小学国語 五上、ひろがる言葉小学国語 五下 ひろがる言葉小学国語 六上、ひろがる言葉小学国語 六下
取扱内容〔学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等〕、内容の構成・排	○ 〔知識及び技能〕の内容については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 昔話などの読み聞かせを聞いて面白いと思ったところを発表する活動や、言葉探しゲームで似た意味の言葉をまとめる活動 第3,4学年～ 日常使われている簡単な単語についてローマ字で読んだり書いたりする活動や、故事成語などの意味を調べてカードを作り、相手に紹介する活動 第5,6学年～ 相手や場面に応じて敬語を使う活動や、「枕草子」などの古典を音読して、昔の人のものの見方や感じ方を知る活動 ○ 話すこと・聞くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 話す事柄の順序に気を付けながら発表する活動や、質問したり答えたりしてつないで話し合う活動 第3,4学年～ 調べたことを資料にまとめて大事なことが伝わるように発表する活動や、役割に気を付けながら話し合う活動 第5,6学年～ 資料を使って効果的に発表する活動や、地域の防災について、パネルディスカッションにおいて立場を明確にして話し合う活動 ○ 書くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 写真を見て想像したことを基に物語を書く活動や、身の回りの生き物について調べてわかったことを基に生き物クイズカードを作る活動 第3,4学年～ 見学したり調べたりしたことをまとめて報告するリーフレットを作る活動や、想像したことを基に、設定や展開を考えながら物語を書く活動 第5,6学年～ 構成や表現を工夫したポスターを作る活動や、文章全体の展開を工夫して物語を書く活動 ○ 読むことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 文章と絵を結び付けて読むことのよさについて考えたことを伝え合う活動や、あらすじや心に残ったところなどをまとめて紹介する活動 第3,4学年～ 文章を読んで考えたことをまとめる活動や、登場人物の性格や気持ちの移り変わりについて分かったことを伝え合う活動 第5,6学年～ 事例と解説を基に筆者の考えについて読み取る活動や、伝記を読んで生き方について、自分の考えをまとめる活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 「学習のてびき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、登場人物が考えていたことを想像しながら読んだり、説明の順序に気を付けて内容の大体を捉えて読んだりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第3,4学年～ 「学習のてびき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、登場人物の気持ちの変化について想像しながら読んだり、大事な言葉や文に気を付けて要約しながら読んだりするなど、考えを広げたり深めたりする活動			

列	第5,6学年～ 「学習のてびき」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、物語に使われている表現の工夫について考えながら読んだり、筆者の論の進め方についてまとめたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1,2学年～ 第1学年で、身の回りの生き物を友達に知らせる文章を書く活動、第2学年で、身の回りで見つけたものを友達に知らせる文章を書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫 第3,4学年～ 第3学年で、自分の気持ちが相手に伝わるように礼状を書く活動、第4学年で、送る相手や伝える目的に合わせた手紙や電子メールを書く活動を取り扱うなど2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫 第5,6学年～ 第5学年で、意図をもって話を聞いたことを基に考えたことをまとめる活動、第6学年で、相手の思いを考えながら聞き、感想を伝え合う活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 人の話を聞いて、初めて知ったことを友達に伝える活動（第1学年）や写真や図表を効果的に使い、読む人の興味を引く図鑑を作る活動（第4学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、多様なテーマの図書を紹介した「読書の広場」を掲載する（全学年）など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「ひろがる言葉」でどのような内容を学び、どのような言葉の力を身に付けるのかを示したり（全学年）、各単元で言語活動の具体的な場面をイラストや図版で示したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 教科書体を基本としながら、UDに配慮したオリジナルフォントを使用したり（全学年）、色調のバランスや形の上で区別しやすいようカラーUDに配慮したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、児童作品例の別バージョンや補完版、資料画像等を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

様式 3

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		38・光村	第 1 学年 第 2 学年 第 3 学年 第 4 学年 第 5 学年 第 6 学年	国語・113、国語・114 国語・213、国語・214 国語・313、国語・314 国語・413、国語・414 国語・513 国語・613	こくご一上 かざぐるま、こくご一下 ともだち こくご二上 たんぼぼ、こくご二下 赤とんぼ 国語三上 わかば、国語三下 あおぞら 国語四上 かがやき、国語四下 はばたき 国 語 五 銀 河 国 語 六 創 造
取 扱 内 容 〔学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 、 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等〕 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	○ 〔知識及び技能〕の内容については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 昔話の読み聞かせを聞いて面白かったところや出来事について感想を伝え合う活動や、様子を表す言葉やたとえを使って文を作る活動 第3,4学年～ 身の回りで使われている簡単な単語についてローマ字で書いたり読んだりする活動や、短歌や俳句を言葉の響きを楽しみながら音読する活動 第5,6学年～ 「竹取物語」や「平家物語」などの古文を様子を想像しながら音読する活動や、日常よく使われる敬語に使い慣れる活動 ○ 話すこと・聞くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 友達と相談しながら問題を作ってクイズを出し合う活動や、相手の考えを引き出す質問をし合う活動 第3,4学年～ 質問しながら友達の話詳しく聞く活動や、学級全体で話し合いの議題を決め、役割を意識しながら話し合う活動 第5,6学年～ 意図が伝わるように質問したり、それに答えたりする活動や、質問して考えを広げ、問題点や改善点を明らかにして考えをまとめたりする活動 ○ 書くことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 知らせたいことを明確にして手紙を書く活動や、観察したことを記録する文章を書く活動 第3,4学年～ 身の回りの仕事取材してレポートにまとめる活動や、災害への備えに対する自分の考えを書く活動 第5,6学年～ 考えが伝わるように書き方を工夫して意見文を書く活動や、相手や目的を考えて引用したり図表を用いたりしてパンフレットを作る活動 ○ 読むことについては、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 役割を決めて音読したり演じたりする活動や、獣医の仕事を説明する文章を読んで考えたことを伝え合う活動 第3,4学年～ 文章を読んで考えたことをまとめ、伝え合う活動や、登場人物の気持ちの変化について考えをまとめ、交流する活動 第5,6学年～ 文章の要旨を捉え、考えたことを伝え合う活動や、構成や表現に着目し、作品の世界を想像しながら読む活動 ○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 第1,2学年～ 「がくしゅう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、場面や登場人物の様子を想像しながら読んだり、文章を読んで分かったことを伝え合い、関連する本を選んで読んだりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第3,4学年～ 「学習」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、筆者の説明の仕方の工夫を見付けながら読んで考えたことを伝え合ったり、物語を読んで登場人物の気持ちの移り変わりについて考えたことを伝え合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 第5,6学年～ 「学習」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、文章を図表やグラフ、写真などを結び付けながら読んだり、複数の文章を読んで、				

	それぞれの特徴について考えたことを伝え合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動 ○ 内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1,2学年～ 第1学年で、学校で見付けたものを知らせる文章を書く活動、第2学年で、町の中で見付けたもののよさを知らせる文章を書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫 第3,4学年～ 第3学年で、相手に必要なことが伝わるように行事を案内する手紙を書く活動、第4学年で、相手に気持ちが伝わるように礼状を書く活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫 第5,6学年～ 第5学年で、特定の立場に立って意見を述べ合う活動、第6学年で、様々な考え方を聞いて自分の考えを広げたり深めたりする活動を取り扱うなど、2学年を通じて系統的・発展的に学習できるような工夫
使用上の配慮等	○ 夏休みの出来事を友達に知らせる活動（第1学年）や知らせたいことが読む人に伝わるよう工夫して新聞を作る活動（第4学年）を通して、相手意識や目的意識を明確にするとともに、図書館の活用方法や多様なジャンルの読み物を紹介した「本は友達」を掲載する（全学年）など、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「国語の学びを見わたそう」で学習の進め方や当該学年で学ぶ言葉の力を示したり（第2～6学年）、「見通しをもとう」で学習過程を明確にしたり（第2～6学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○ 自社作成の教科書体や着目させたい箇所及び文字の小さな箇所などにUD書体を使用したり（全学年）、複数の情報の識別が必要な図版の色の組み合わせや色調に配慮したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、発表や話し合いなどの動画資料、作家へのインタビュー等を活用できるようにする（全学年）など、使用上の便宜が図られている。
その他	※ 小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。

＜国語の具体的な調査項目＞

◎調査項目

- ① 「知識及び技能」、「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」及び「C 読むこと」の教材数と総ページ数
- ② 伝統的な言語文化にかかわる教材数
- ③ 北海道とかかわりのある内容を取り上げている教材数

◎調査項目にした理由

- ① 学習指導要領に示されている内容を適切に指導することが求められていることから、領域ごとや全体としての分量を把握する必要があるため。
- ② 我が国の伝統や文化に対する関心や理解を深めることが求められていることから、伝統的な言語文化にかかわる教材の掲載の状況について把握する必要があるため。
- ③ 児童の興味・関心を生かした学習が促されるよう工夫することが求められていることから、北海道にかかわりのある教材の掲載の状況について把握する必要があるため。

様式 5

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、様式6にデータを掲載していることを示す。

調査項目			東書						教出						光村					
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
①	内容領域の教材数	知識及び技能	52	48	52	55	49	51	64	55	57	56	48	46	70	59	53	56	60	54
		A話すこと・聞くこと	9	5	5	5	5	5	10	6	9	9	7	7	12	6	5	5	5	6
		B書くこと	25	22	24	24	23	24	15	13	16	19	15	14	25	23	23	22	21	21
		C読むこと	17	13	12	12	12	11	20	15	12	12	13	14	18	14	13	13	12	13
		総ページ数	320	332	342	332	298	298	314	334	326	348	346	330	273	332	332	336	294	312
		前回の総ページ数	320	348	356	356	306	306	314	332	324	346	336	340	270	322	322	326	297	311
		増減	0%	-5%	-4%	-7%	-3%	-3%	0%	1%	1%	1%	3%	-3%	1%	3%	3%	3%	-1%	0%
②	伝統的な言語文化にかかわる教材数		2	8	6	6	6	6	2	5	4	4	3	2	8	4	3	3	7	2
③	北海道とかかわりのある内容を 取り上げている教材数		0	0	0	4	1	1	0	2	1	2	5	4	0	1	0	4	5	1

※次に示す発行者及び学年は合本（合冊）になっている。

東書…第5学年、第6学年 光村…第5学年、第6学年

様式6

様式5の調査項目③「北海道とかかわりのある内容」の具体的な内容

者	学年	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
東書	4	四年生の本だな（上P105、106）	文章	北海道の深い山おくに、（略） 『しまふくろうのみずうみ』手島圭三郎
			作者	『シマフクロウとサケ』アイヌのカムイユカラ（神謡）より
		季節の足音ー冬（下P77）	作品	しらしらと氷かがやき千鳥なく 釧路の海の冬の月かな （石川啄木の俳句）
		漢字を使おう 11（下P127）	地名・地図	北海道
		付録 言葉の広場（下P144）	文章	例（略）最も北にあるのは北海道だ。
	5	漢字を使おう 2（P55）	文章	（略）北海道や東北地方をしょうかいする文を（略） 例 北海道と青森県は、（略）
			地図	北海道
	6	六年生の本だな（P206）	文章	純は、（略）北海道にある富良野の原野へ（略） （『北の国から 前後編』倉本聰）
教出	2	ふろく 2年生で読みたい本②（上P147）	作品	クロヌップのきつね たかはしひろゆき
		本を読もう（下P19）	作品	ピリカ、おかあさんへの旅 おちのりこ
			文章	さけのピリカは、自分の生まれた川へとおよぎだします。
	3	ふろく 3年生で読みたい本④（下P139）	文章	シベリアのきびしい冬をのがれて、北海道にわたってくるおおはくりょう。 （『ハクチョウ』竹田津実）
	4	都道府県に用いる漢字（上P74）	地名	北海道
		「便利」をさがそう（下P97）	図表	イ：各都市の路面電車の乗客数（日本）のグラフ （札幌、函館の人数）
	5	情報ノート（上P39）	資料	新聞記事の例に、「知床（北海道）」と記述
		伝わるように構成を考えよう（上P63）	資料	ポスターの例として、雪のふる町科学館の住所に「札幌市」と記述
		四年生で学んだ漢字③（上P124）	地図	北海道
		言葉の広場③ 方言と共通語（上P126）	地図	北海道
			記号	「アリガトー」などの北海道の方言
		世界遺産 白神山地からの提言ー意見文を書こう（下P9）	脚注	ブナ 北海道から九州まで、山のふもとから中腹までの森林をなす代表的な種
	6	雪は新しいエネルギーー未来へつなぐエネルギー社会（上P40～47）	地名	北海道むかわ町穂別、沼田町、美唄市、名寄市、洞爺湖、札幌市
			施設名	北海道札幌市モレエ沼公園にある「ガラスのピラミッド」、新千歳空港のターミナルビル
			写真	札幌市など雪国での除雪ボランティア、ガラスのピラミッド、貯雪庫、札幌市澄川南の雪山、沼田町の雪山保存実験の様子
			地図	図5：豪雪地帯および特別豪雪地帯（北海道、札幌市）

光村			作者	北海道生まれ (媚山政良)
		読書の広場① 地域の施設を活用しよう (上P92)	写真	国立アイヌ民族博物館 (北海道白老郡白老町)
		本を読もう (下P113)	作品	『知里幸恵物語 アイヌの「物語」を命がけで伝えた人』(金治直美)
		付録 伝えられてきた作品 (下P134)	作品	『アイヌ神謡集』(知里幸恵 訳)
			文章	北海道に住むアイヌの人々の間で口伝えにうたいがられてきた物語を、(略)
			地図	日本地図
	2	この本、読もう (上P64)	作品	『カムイチカプ』
			地図	日本地図
	4	カンジーはかせの都道府県の旅1 (上P50)	文章	北海道では、ジャガイモが多く生産されている。
			地図	日本地図
		パンフレットを読もう (上P122)	資料	さっぽろの水道 札幌市水道局 (パンフレットの例)
		中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書こう (下P47)	写真	二風谷イタ (北海道)
		風船でうちゅうへ (下P101、105)	文章	(略) 通っていた北海道大学の、(略)
			図表	図⑤ (四号機の飛行ルート)
	5	方言と共通語 (P133)	図表	方言分布図 (北海道が図示)
		固有種が教えてくれること (P152、153、154)	文章	(略) 北から北海道、(略)
			図表	資料2：日本列島の成り立ち (北海道が図示 図1～4)
			文章	(略) 北海道が大陸とはなれたのは、(略)
			図表	資料3：1年間の平均気温 (北海道が図示)
			図表	資料4：標高 (北海道が図示)
		漢字の広場④ (P170)	図	北海道 (「都道府県すごろく」中の文字)
		この本、読もう (P181)	作品	『知里幸恵物語』アイヌの「物語」を命がけで伝えた人
		チェロの木 (P266)	脚注	いせ ひでこ 一九四九年、北海道生まれ。
	6	付録 言葉の交流 (P277)	文章	アイヌ語は、北海道や本州北部、(略) 特に、北海道の地名の多くは、アイヌ語が元になっています。 北海道では、紋別、登別、札内といったように (略) (言葉の交流 「アイヌ語の地名が伝えること」)
			写真	知床は、「シリ (地)・エトク (先端)」

※「北海道」や地名、地図が記載されている部分、アイヌ語が表記されている部分を具体的な内容として取り上げ、カウントは教材数とした。